

## 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

### 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 90%  
保護者様： 16名回答、回答率 77%

### 職員の意見

#### ○環境・体制整備

- ・ビルの入口に段差があり、バリアフリー化の配慮がなされておらず、車椅子でご利用される場合の対応に向けた動きもない。
- ・運動等体を動かす療育の度、机・椅子を移動させている。

#### ○業務改善

- ・業務改善を進めるための日々振り返りを行い、広く指導員が参画している。その時にいないスタッフに対しては議事録にて共有している。
- ・指導員の資質向上のために研修を定期的に行っている。

#### ○適切な支援の提供

- ・個別支援計画の作成には策定会議にかけて定期的に行っている。
- ・生徒の能力に合わせて個々に支援を行っている。
- ・支援開始前には支援内容や役割分担について確認を行い、振り返りの共有も行っている。

#### ○関係機関や保護者との連携

- ・生徒の主治医との連携が少ない。
- ・事業連絡会(区によって相違はある)との連絡会議を半年に一度行っている。
- ・社内研修は時間を取っているが、内部研修の割合が高く外部研修が少ない。

#### ○保護者への説明責任等

- ・年に2回、保護者会と療育参観を開催している。
- ・保護者からの苦情に対し、敏速に且つ適切に対応している。

#### ○非常時等の対応

- ・虐待を防止するための研修を定期的に行い、適切に対応している。
- ・月一度の避難訓練を行っている。
- ・非常災害(特に大雪・台風)の対応が不十分だと感じる。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

- ・スペースが十分に確保されているかわからない(少し狭い気がする等の意見もある)
- ・定員と配置人数割合が適正だと思われる。
- ・分からないという意見も何件かあった。

### ○適切な支援の提供

- ・生徒の課題と保護者のニーズに合わせて支援計画が作成されている。
- ・活動プログラムは生徒の発達に合わせて決め細かく計画され、療育を受ける事によってよりよく成長していています。
- ・課外活動をもう少し増やしてほしい。

### ○保護者への説明等

- ・生徒の年齢的に心体が飛躍的に成長する段階で、よりよく成長していけるように助言を頂いて助かります。
- ・支援内容の説明があり、指導員との共通理解はできている。
- ・保護者会は定期的に行われていて、教室での生徒の過ごし方等の話しが聞けたり、画像を見られたりして良いと思います。

### ○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアルや防犯マニュアルについてはよくわからない。
- ・大雪の対応について、その都度対応が変更しているように感じられ困る時がある。

### ○満足度

- ・通所(スマートにいく事)を楽しみにしている。
- ・活動等工夫されている。
- ・課外活動を楽しみにしている。



## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・指導員全員が得意分野を生かして療育にあたっていること。
- ・都立高校吹奏楽部との交流。
- ・保護者からの紹介を含めオーケストラ鑑賞等イベントへの鑑賞や参加を行っている。
- ・スタッフの離職もほとんどなく長期間在籍している指導員が多いため、見通しを立てて支援にあたることができる。

### ○改善点

- ・定員や指導員配置人数など教室の見える化に取り組む。
- ・非常災害(悪天候)の対応については、保護者に理解を得られるように丁寧に取り組む。



## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・教室の状況・緊急時の対応は書面にて提示する。
- ・保護者会出席できなかった御家庭には文書で配布し情報をお伝えするようにする。
- ・ヒヤリハットや事故報告書で上がった事例はミーティングにおいて指導員に周知徹底を行っていく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・保護者参加型プログラムの実施等行い、生徒・保護者との信頼関係を築いていく。
- ・課外活動のプログラムを充実させ、体験を通して生徒の成長を育んでいく。

# スマートキッズ